

平成 18 年 6 月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

平成 18 年 6 月 16 日（金）午前 9 時 30 分

2 出席委員

齋藤 道子 委員長
船山 道敏 委員
出光 ケイ 委員
田中 茂 委員（教育長）

3 欠席委員

奥寺 康彦 委員

4 出席説明員

管理部長	小林 繁
管理部総務課長	長澤 潤
管理部学校再編担当課長	奥田 幸治
管理部教職員課長	阿部 信行
管理部総合高校担当課長	井上 昭
管理部学校管理課長	高田 利男
生涯学習部長	三塚 勉
生涯学習部生涯学習課長	永塚 高行
生涯学習部学校教育課長	外川 昌宏
生涯学習部学校保健課長	田嶋 敏彦
生涯学習部スポーツ課長	大場 智和
生涯学習部美術館開設準備室長	原田 光
生涯学習部教育研究所長	渡辺 浩
生涯学習部中央図書館長	濱田 祐治
生涯学習部自然・人文博物館長	林 公義

5 傍聴人

なし

6 議題及び議事の概要

○委員長 開会を宣言

○委員長 本日の会議録署名人に出光委員を指名した

○教育長報告

平成 18 年 5 月定例会から本日までの所管事項について報告。

5 月 30 日から 6 月 9 日までの 11 日間の会期中、平成 18 年第 2 回市議会定例会が開催された。教育委員会からは 5 月の教育委員会定例会で議決をいただいた、美術館条例の議案と、市立総合高校グラウンド整備工事請負契約の議案を提出しました。この両議案については、教育経済常任委員会に付託され、6 月 5 日の委員会の場で審査され、6 月 9 日の本会議で両議案とも可決されました。

6 月 6 日に行われた、教育経済常任委員会の視察は、諏訪幼稚園と諏訪小学校の幼少連携と、大塚台小学校の増築と校庭整備でした。

以上で報告を終わります。

議案第 36 号 平成 19 年度横須賀市立横須賀総合高等学校の入学者の募集及び選抜要綱制定について

委員長 議題とすること宣言

○説明

(学校教育課長)

議案第 36 号、平成 19 年度横須賀市立横須賀総合高等学校の入学者の募集及び選抜要綱制定について、ご説明申し上げます。これは、平成 19 年度横須賀市立横須賀総合高等学校の入学者募集の基本方針として、要綱を制定するものでございます。

昨年と変わったところは 4 ページの後期選抜の日程を全日制と定時制を別日程としたところです。このことによりまして、2 ページの 3、募集期間の後期選抜の部分、3 ページの 5 の (2) 志願変更の期間、4 ページの 8 の後期選抜の学力試験等の期日と合格発表の期日が記載の通り全日制と定時制で別日程になっております。後期選抜の日程を全・定別日程にした理由は、別日程とすることで、全日制と定時制の両方を受検することが可能となり、これまで全・定同一日程の中で後期選抜の全日制をあきらめて定時制を受検した生徒が全日制を受けることが出来るようになったこと。さらに、後期選抜で全日制を受検し、不合格であった受検生に対し、従来全・定の二次募集だけしか機会がなかったものが、後期選抜の定時制を受検する機会を確保することができ、公立高等学

校への進学希望に可能な限り応えることができることにあります。

なお、学力検査等の期日の公式発表は、県立高等学校を設置する神奈川県、市立高等学校を設置する横浜市、川崎市もそれぞれの教育委員会に「平成 19 年度県立及び市立高等学校の入学者の募集及び選抜要綱」を付議することになっており、県と横浜市、川崎市と本市の三市教育委員会の議決後に、「公立高等学校入学選抜日程」として、記者会見を行う予定になっております。従いまして、ここでは日程等について詳しく申し上げることはできませんので、ご了承ください。

以上で、平成 19 年度横須賀市立横須賀総合高等学校の入学者の募集及び選抜要綱についての説明を終わらせていただきます。

(出光委員)

受験機会を増やすことは柔軟性があり良いことだと思う。今回の措置を実施することで、どの程度救済される生徒が増えるのか。

(学校教育課長)

現実的には横須賀市立の高校は 1 校であり、どちらかに受験者が偏って集中することはなかった。前回試験の全日制の倍率は 1.12 倍で、定時制は 1.23 倍である。全県的には定時制の希望者が増えている。現実的に定時制の 2 次募集で定員超過している場合もある。

(出光委員)

従前は、定時制は定職を持ちながら学ぶ学生が通っていたイメージがあるが、現在どうして定時制を希望する学生が増えているのか。

(学校教育課長)

以前と比べ教育課程が多様となってきた。つまり高等学校のあり方が変わってきており、受験生は自らの将来を見据え、自分たちが進みたい学校を受験している。しかし後期は、なかなか自分の都合ばかりを優先できない。現在定時制を希望する生徒が増えている理由のひとつは、定時性が高等学校のセーフティー・ネットとなっている役割がある。具体的には、全日制が合わない生徒の増加などが挙げられる。

他に質問、討論なく、採決の結果、議案第 31 号は「総員挙手」をもって原案どおり可決、確定する。

委員長 続いて報告事項を聴取することを宣言

報告事項「平成17年度横須賀市一般会計繰越計算書（教育委員会分）について」

（総務課長）

平成17年度横須賀市一般会計繰越計算書のうち教育委員会所管分についてご報告いたします。

まず上段の継続費繰越計算書についてご説明いたします。

款・教育費、項・社会教育費、事業名・平成16年度美術館建設事業費の美術館につきましては、平成16年度から18年度までの3カ年の継続費により、建設を進めているところであります。平成17年度継続費予算現額2,653,764,405円に対し、支出済額は2,364,841,092円であり、残額288,923,313円を翌年度に繰り越したものであります。

次に、中段の繰越明許費繰越計算書についてご説明いたします。繰越明許費につきましては、年度末に集中する工事の平準化を図るとともに、突発的に発生した修繕工事に対応するため、昨年の第4回市議会定例会において議決を得て定めたものであります。

款・教育費、項・小学校費、事業名・学校管理費（小学校営繕工事費）につきましては、衣笠小学校ほか2校のプール改修、塗装などの工事を施工するための工事請負費を、翌年度繰越額欄に記載のとおり、14,864,250円繰り越したものであります。

款・教育費、項・中学校費、事業名・学校管理費（中学校営繕工事費）につきましては、不入斗中学校プール改修工事と鴨居中の便所タイル改修工事を施工するための工事請負費を、翌年度繰越額欄に記載のとおり、12,836,250円繰り越したものであります。

次に、下段の事故繰越し繰越計算書についてご説明いたします。

款・教育費、項・中学校費、事業名・学校営繕工事費（岩戸中学校校庭）につきましては、昨年度中に竣工予定の岩戸中学校の校庭不陸調整工事が、積雪等の天候不順により工事が中断し、竣工が本年度にずれこんだため、支出未済額欄記載のとおり、30,024,735円を繰り越したものであります。

なお、本工事につきましては、既に4月3日に竣工し、4月4日に検査完了済となっております。

なお、これらの繰越計算書につきましては平成18年第3回市議会定例会に報告させていただきます。

特に質問はなく、その他報告等があるか確認。

(学校教育課長)

今月末の6月30日朝に、神奈川あいさつ一新運動の一環として、松沢神奈川県知事と神奈川県警察本部長、神奈川県教育長が船越小の学童見守り隊とともに、校門に立ちあいさつ運動を実践する。本市からも田中教育長が参加する。

特に質問はなく、その他委員から質問等があるか確認。

(船山委員)

神奈川新聞に児童虐待の記事を読んだ。横須賀市医師会でも虐待に関する講演がおこなわれた。児童虐待に関する横須賀市教育委員会の関わりは、どのようなものなのか。

(学校教育課長)

昨年時点で県内に県施設の5箇所の児童相談所があったが、横須賀市は件数が多かった。平成17年度において県内5箇所で1,239件の通報のうち、横須賀分は、30%で370件の通報があった。しかし、件数については、虐待に対する意識が高いゆえに通報件数が多くなるという傾向もある。

また通報については、教育現場において虐待を認め通報する経路もある。虐待は低年齢児に多い傾向がある。今後、横須賀の児童相談所が市の管轄になったことで、今まで以上に連携を深めて行きたいと考えている。

(船山委員)

先日、横須賀の児童相談所の副所長に会う機会があった。横須賀以外の地域では、児童相談所への通報システムが脆弱であると聞いた。

(学校教育課長)

横須賀の教員は見る目が育ってきていると自負している。今後も児童相談所と連携をとり問題解決にあたりたい。

他に特に質問はなく、日程は終了した。

7 閉会及び散会の日時

平成18年6月16日(金) 午前10時00分

横須賀市教育委員会

委員長 齋藤道子